

プラモ感覚で作れるキット

び こ で ん け ん

Pico電鍵 Ver3



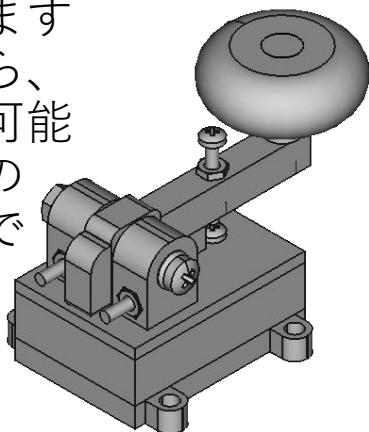
<http://ji1pvv.cocolog-nifty.com/blog/2022/04/post-420c52.html>

Twitter: @ji1pvv1



対象年齢：10歳以上

- 小型軽量の電鍵
- プラモ感覚で、楽しく作れます
- 低価格ながら、本格運用も可能
- オプションのマグネットで屋外運用も可能



※Ver3より磁石を取れ難い構造に変更しました。

●作成に必要な工具

- ⊕時計ドライバー(2mm)
- ラジオペンチまたはスパナ

●本キットに含まれるもの
下記パーツリストに記載されています。

●モール音を鳴らしたり、無線機に接続する場合は、別途オプションが必要です。

⚠ 注意事項

- 作る前に説明書を良く読んでください。
- 小さなお子様が居る所で組み立てないでください。
- 接着剤は閉め切った室内や火の近くでは使わないでください。
- 本品は玩具として作成したもので、性能等の保証は行いません。
- 電極が露出しているため、高圧・大電流で使用しないでください。(乾電池程度を想定)
- 本品は3Dプリンターで造形したものです。
- PLA(ポリ乳酸樹脂)を使用しており温度が60°Cを超える場所での使用や放置をしないでください。
- ネジを必要以上に締めないでください。
- 仕様は予告なく変更する場合があります。

パーツリスト

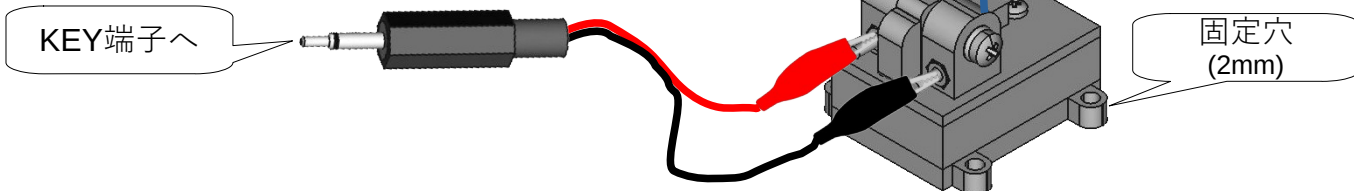
■ トップ 	■ ボディ 	■ バー 	■ ツマミ・キャップ
■ 調整ネジ 	■ ネジ (M2x15) 	■ ナット (M2) 	■ ワッシャー(M2)
■ M3ネジ (M3x25) 	■ M3ナット(M3) 	■ コード (実際の色と異なります) 	■ 木ネジ(M2.4)

※木ネジは台などに固定する時に使用します。

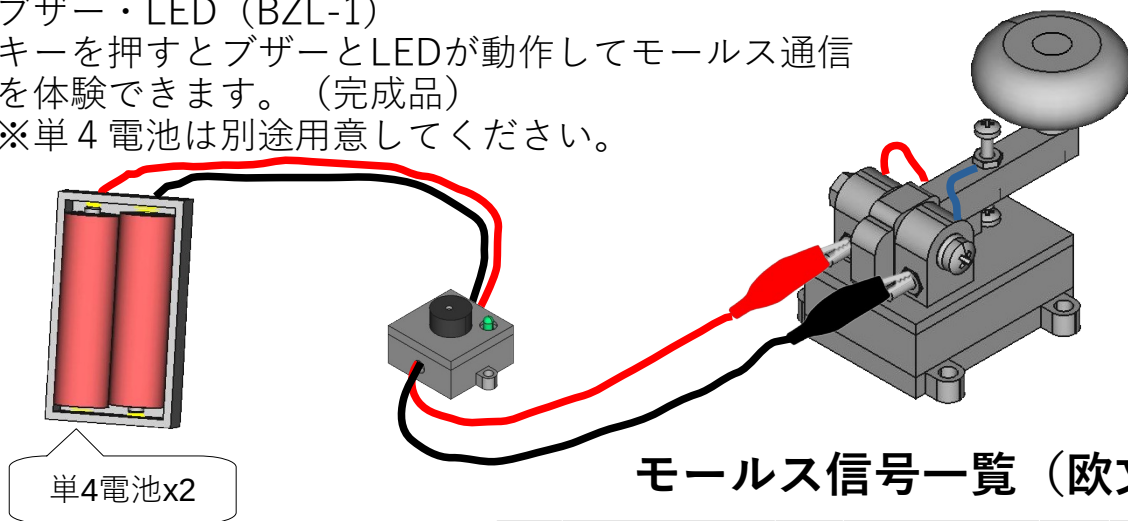
オプション

Pico電鍵は小型・軽量のため、木の台やオプションのマグネット・ベルトなどに固定してお使いください。本体側面に固定用の穴が4か所あります。

- ①ミニジャックアダプタ (JAD-1)
ミニジャックを備えた無線機、低周波発信機、CWインベーターなどに接続できます。



- ②ブザー・LED (BZL-1)
キーを押すとブザーとLEDが動作してモールス通信を体験できます。(完成品)
※単4電池は別途用意してください。



モールス信号一覧 (欧文)

設定が終わったら電鍵のツマミを軽く押してください。「ピー」と音が鳴ります。

右の表にモールス信号の一覧を掲載しました。モールス信号を打つときは、ツマミを押す時間の長さを変えます。

モールス信号は、短い信号を短点(・)、長い信号を長点(-)と呼び、長点1つは短点3つ分の長さ、点の間は短点1つ分の間隔をあけます。

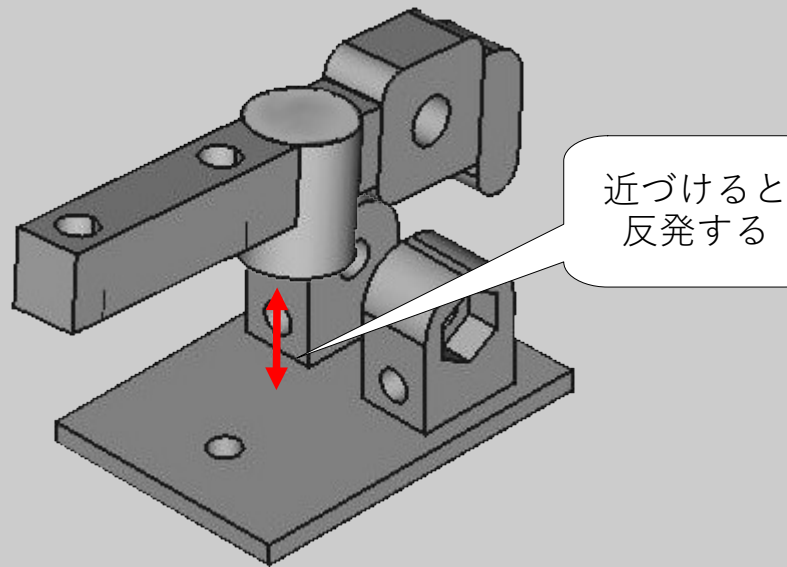
文字間隔は短点3つ分、語間隔は短点7つ分あけます。



A	・-	N	--・	1	・-----
B	-...	O	----	2	・・----
C	-.-.	P	・---.	3	...---
D	-..	Q	---.-	4-
E	・	R	・-.	5
F	・・-	S	...	6	-.....
G	---.	T	-	7	---...
H	U	..-	8	-----.
I	..	V	...-	9	-----.
J	・----	W	・--	0	-----
K	-.-	X	-...--
L	・-..	Y	-.-.-	?
M	--	Z	---..	-	-.....-

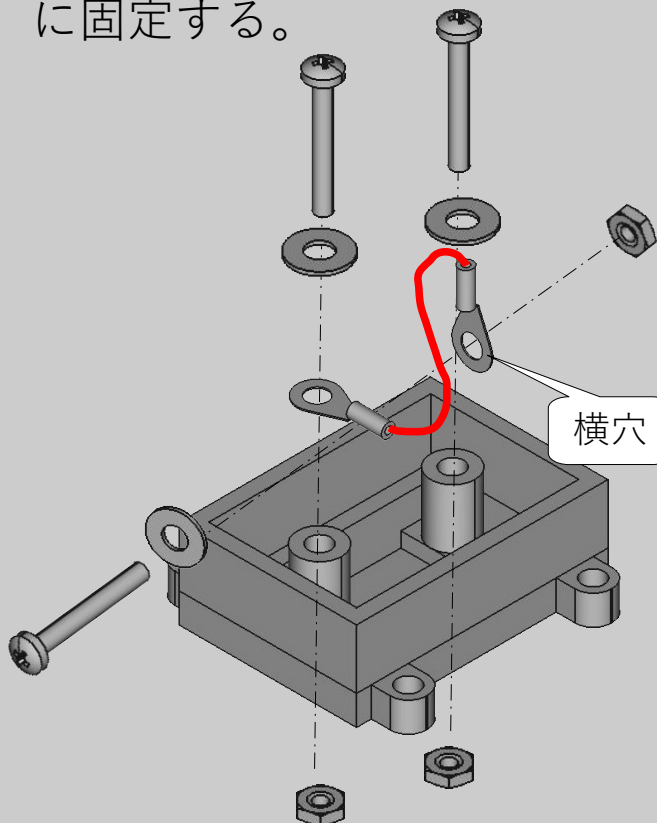
組み立て・調整

① トップの磁石にバーを近づけると磁石が反発することを確認する。

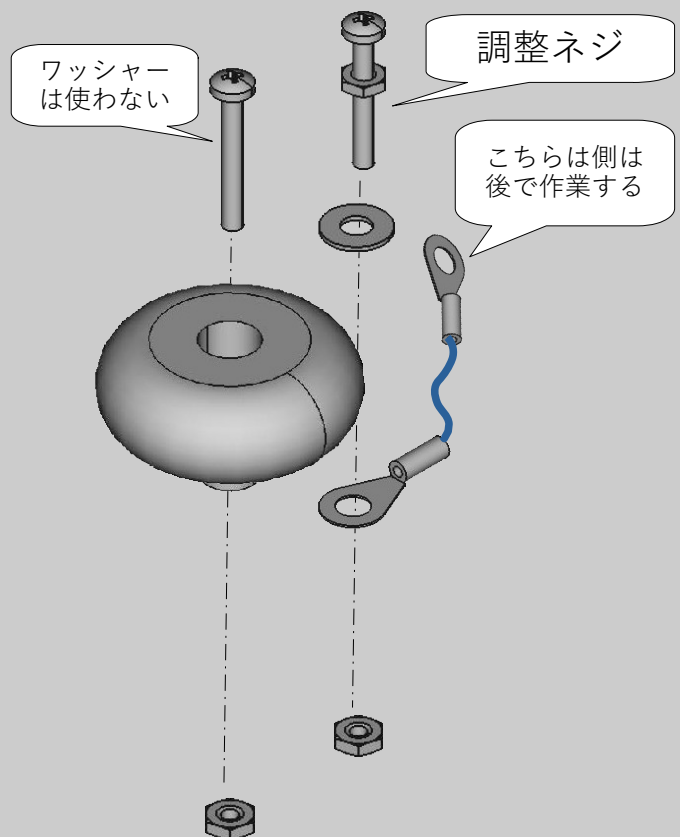


※磁石は接着済ですが、磁石が取れてしまった場合、小さなお子様の誤飲に注意してください。

② トップとボディをネジで固定する。コードは横穴に固定する。

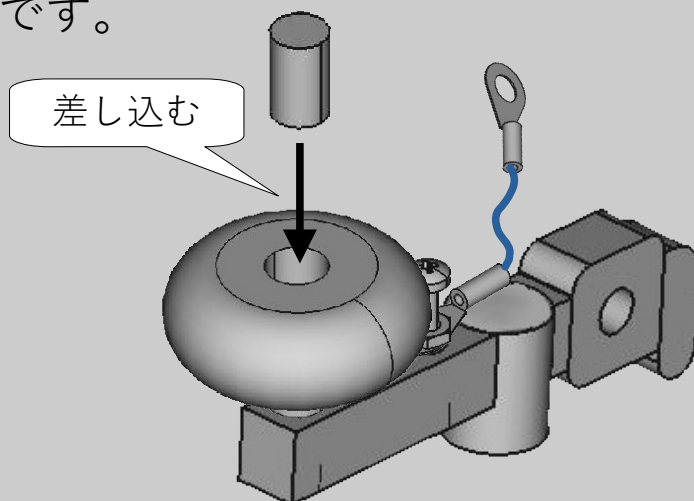


③ バーとツマミをネジで固定する。

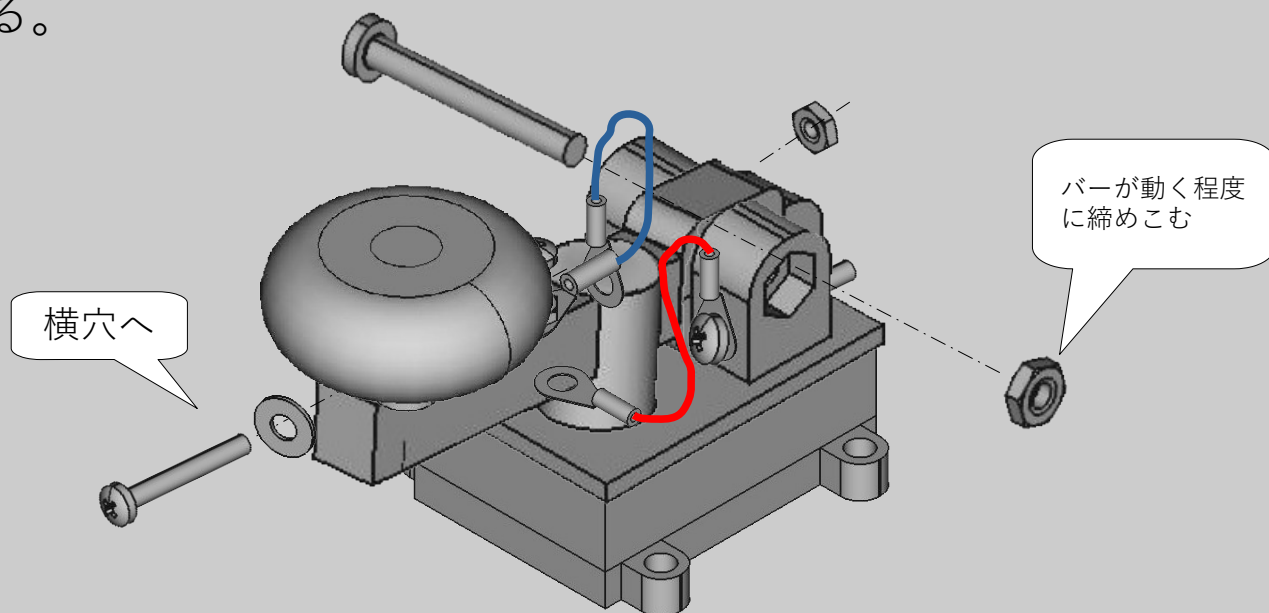


※線の色は実際のものとは異なります。

- ④ ツマミの穴にキャップを差し込む。
※接着剤は不要です。



- ⑤ トップとバーをM3ネジで固定する。ネジはバーが動く程度に締めこむ。バーに接続したコードは、トップの横穴に固定する。



- ⑥ ツマミを押さない状態で調整ネジを回し間隔を0.5~1mm程度に調整します。調整後、ナットを締めて固定します。
※間隔は好みで変更して結構です。

